

男性教職員の育児休業取得体験談

～男女ともに育児休業等を取得することが当たり前の社会を目指して～ 令和7年3月

高知県では「共働き・共育て」を推進する宣言を発表し、男性の育児休業取得率を向上させ、家事や育児の時間を増やすことで出生数減少に歯止めを掛け、少子化の流れを逆転させることを目指しています。

高知県教育委員会では、公立学校における男性教職員の育児休業取得率を50%（令和6年度）とする目標を掲げています。令和2年度時点で7.3%であった取得率が令和5年度時点で35%に上昇しており、目標達成には至っていないものの、年々着実に向上しています。また、令和6年度における男性教職員の育児休業取得者数は、2月末時点で令和5年度の取得者数を上回っており、「令和6年度50%達成」への期待が高まっています。

一方で、令和2年4月以降に子どもが生まれた、または現在子どもの誕生を予定している県立学校の教職員を対象に実施したアンケートでは、男性教職員が育児休業を取得することへの不安や心配等についての声が見受けられました。しかし、収入面での支援や、学校・管理職への取得意義の啓発にも取り組んでいますので、ぜひ取得を進めていきましょう。

男性教職員の育児休業への不安や心配～アンケートから～

○「収入が減って家計が苦しくなるから」:48.4%

○「上司や同僚に迷惑をかけるから」:33.9%

○「自分以外に育児をする人がいる」+「自分よりも配偶者が育児をした方が子どものために良いと思った」:29.1%

○「収入が減って家計が苦しくなるから」について

給与は支給されませんが、別途共済組合から、子が1歳になるまで育児休業手当金が支給されます。取得開始から180日間は標準報酬日額の67%、それ以降は50%です。また、育児休業中は共済組合・互助会の掛金免除が受けられるので、手取り額でみると休業前の約8割となります。（180日間の場合）

また、令和7年4月1日以降に育児休業を開始される場合は、「育児休業支援手当金」が追加されます。組合員とその配偶者の両方が、一定期間内（男性は子の出生後8週間以内、女性は産後休暇後8週間以内）にそれぞれ14日以上育児休業を取得する場合に、育児休業手当金に上乘せするかたちで、28日間を限度に標準報酬日額13%（上限あり）が給付されます。最大28日間ですが、手取りでみると休業前の約10割相当となりますので、収入減を理由に育児休業をためらっている方は、ぜひ、取得を考えてください。

○「上司や同僚に迷惑をかけるから」について

『「代わりの人がいなくて迷惑をかけてしまう・・・」の理由で取得しないのはもったいない。きっと周りの先生達が支えてくれると思います!!』これはこの3月号に掲載している方の言葉です。ぜひ勇気を出して、一歩踏み出してみませんか？また、学校全体で理解の推進や取得しやすい環境づくりを進めていきましょう。

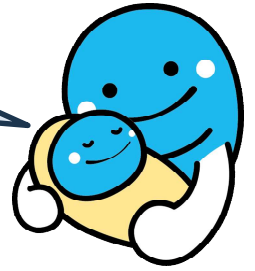
○「自分以外に育児をする人がいる」+「自分よりも配偶者が育児をした方が子どものために良いと思った」について

子育てに携われる時期は限られており、育児休業は子どもの成長を身近で感じられる貴重な機会です。出産後の女性は心身ともに不安定になりやすく、パートナーの支えが必要となります。さらに、育児を通じて得られる経験は、教職員としての成長にもつながります。過去の体験談でも、女性からの「育休を取得してもらってよかった」という声や男性教職員の気づきが多く語られていました。子どもが生まれた方（生まれる予定の方）は、ご家族と育児への参加について話し合い、管理職とも相談のうえ、育児休業の取得をぜひご検討ください。

実際に育児休業を取得してどうだった？

令和5年度に育児休業を取得した男性教職員に原稿を依頼したところ、27名の方から、提供がありました。

今回は、そのうちの9名の方の体験談をご紹介します。
(9月号・12月号にも提供された体験談を載せています。
ぜひご覧ください)



小学校A教諭【生後6か月頃から約3か月間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

妻が育休から職務に復帰するため。

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

図書館で育児に関する本を借りて知識を得ていましたが、一人で子どもをみることがなかったので不安はとてもありました。丁度離乳食が始まる時期だったので、作ることに苦労をしました。私の両親や妻の両親も気にかけてくれ、昼間一緒に過ごしてくれたのでとても助かりました。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

子どもとの時間をたくさんとることができたことが一番良かったです。一人でみることで育児の大変さも学ぶことができて、とても貴重な体験となりました。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

子どもが小さい時に関われることはとても貴重な体験であり、今後の経験としてかけがえのないものになると思います。ぜひ、今しかできない体験をしてみてください。

小学校B教諭【生後12か月頃から約7か月間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

- ・2人目の子どもだったので、育児も慌ただしくなってきたから。
- ・教員の友達が育児休業をとっていたから。
- ・家族でゆっくり「育児」について話し合う時間をとったから。

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

- ・いろいろな公園をめぐったこと。
- ・いろいろな子ども支援センターをめぐったこと。
- ・周囲の反応は、肯定的な意見ばかりだった。
- ・代替講師も配置されたので、安心して育児休業を取得することができた。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

- ・子供が寝た後、読書の時間を確保できた。
- ・子どもとかかわる時間が増えた。
- ・自分で料理をすることが増えた。
- ・夫婦で今後のことについて話し合うことができた。
- ・家族でお出かけや旅行にゆっくりと行けた。



育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

- ・お互いに仕事をしていると、本当に日々があっという間に過ぎていきます。子どもたちが幼い貴重な時期に少しでも夫婦そろって子どもたちと過ごしたいという想いで、育休取得の相談をしたことでした。
- ・夫は、仕事をしていると朝も早く、夜も会が入り、土曜日でも会で不在という日も多く、朝も夜も家で仕事をしています。せめて子どもたちが幼いうちは、夜の会、休日の会の回数を減らしてもらいたい、家族でゆっくり過ごしたいと思っていました。
- ・普段から子どもたちのことも家事も率先してしてくれていましたが、育休中は、長男の保育園の送り迎えをしてくれたり、保育園から帰ってきてても元気がありあまっている長男を公園へ連れ出してくれたりしていました。その間にご飯を作ることができたり、次男とゆっくり過ごすことができたりして、本当に頼もしかったです。平日の夕方から、家族で公園やプールに通ったこともよい時間でした。
- ・育児休業をきっかけに、子育てのためのお金の話や、子どもたちや自分たちの将来の話など、普段なかなかゆっくりできていなかったことを話す時間をとれたことも嬉しかったです。
- ・夫婦で心のゆとりをもって、子どもたちと過ごせたこと、本当にありがたかったです。
- ・おかげさまで、仕事復帰後も気持ちを新たにがんばることができています。仕事も家のことも子どもたちのこともバランスよく、過ごしていきたいと思っています。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

一生に何度もとれるものではないので、思い切って育児休業を取得してみてください。子どもと過ごすとても貴重な時間になります。また、夫婦2人で今後の話をゆっくりとしたり、今までの自分を振り返ったりできます。仕事を続ける選択肢もとても大切なことだと思いますが、子どもと過ごす時間や妻と話す時間はそれ以上に価値のあることだと育児休業を取得してみて気付かされました。1歩前に進んでみてください。新しい自分に出会えるはずです。

小学校C教諭 【生後2か月頃から約1年間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

講師も少なく、育児休業で休むと代わりの先生がいなく、職場に迷惑をかけてしまうと思い、育児休業を取得するつもりはありませんでした。しかし、「ぜひ、子どもさんのことを見てあげてください」や「学校はなんとかするから大丈夫!」という言葉が管理職の先生にかけてもらいました。

2月に生まれ4月からの取得だったので、取得しやすかったです。期間の相談をした際にも、「半年でも、1年でも、お子さんを一番に考えていいからね!」と言っていたので、学校全体の雰囲気や職場の雰囲気が育児休業を取得することを後押ししてくれたのが大きかったです。



育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

2月に生まれ4月からの取得だったので、引き継ぎ等も時間に余裕がありました。次年度の計画などで困りそうな時には、周りの先生方が「やっちょくき」、「全然心配しないでいいよ」と、学校全体で支えてもらったことに感謝しています。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

1年間の取得で生後2か月から1歳2か月まで成長を間近で見ることができました。身近で成長していく姿を見ることができたのはとても良かったです。また、子育てする中で楽しさだけではなく、大変さを経験することができたのが良かったです。

育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

2人いるので分担したり、1人で抱え込まなくなるのが良かったです。ミルク、おむつなどを分担したり、息抜きに出かけたりなど、時間に少し余裕ができました。子どもが泣いたり、子育てが上手くいかないときにも相談したり、2人で一緒に考えながらできたので良かったです。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

子どもの成長をゆっくり一緒に見ることができるのは貴重な時間でした。楽しさも多かったけど、大変さも多かったです。でもその大変さを感じることができたのも良かったと思います。

「代わりの人がいなくて迷惑をかけてしまう・・・」の理由で取得しないのはもったいないと思いました。きっと周りの先生達が支えてくれると思います!!

小学校D教諭【生後8か月頃から約3か月間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

無事出産できたものの、育児に携わることができておらず、妻に負担をかけていた。日々の業務に追われて子どもと関わる時間が十分に取れていなかったため。

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

町での体育関係の事に関わっていたため、町での行事を全て終わらせてからの取得になりました。中途半端な状態で休みをとると迷惑をかけてしまうと考えるのが普通と思うので、育児休業をいつから取れるのか、日程の調整にやや苦労しました。本来はもう少し早い段階で、長い期間取るつもりだったのですが、学校現場の人数から本来の予定より取得が遅くなったことも大変でした。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

私の両親が関西に住んでいるため、ゆっくりと帰省することが今まであまりできていなかったです。しかし、混雑を避けながら、両親に孫の顔をゆっくりと見せることができることは、普通の休みではなかなかできることではないと思います。また、仕事をしながらの普段の生活では、育児になかなか携わることができなかったのですが、この機会に自分の子どもと触れ合う時間も取ることができて、育児にも少しは慣れることができたと感じます。

育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

近くに両親がいない環境で、初めての子育ては大変でした。生後半年は、一人で育児をしていて不安で大変でしたが、育休を生後7か月から取ってくれたおかげで、「一人でやらなければならない。」が「二人でがんばろう。」という気持ちに変わりました。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

職場の先生方に迷惑をかけるという気持ちもあるかもしれませんが、無事生まれることができた子どものために取れる育児休業は一生に一度しかありません。仕事に責任感を持つことは大事だと思いますが、自分の生活・家庭があつての仕事だと思います。少し勇気がいるかもしれませんが、ぜひ自分の子どものために、家庭のために、ゆっくりと時間を取れるいい機会だと思って前向きに検討すると思います。

中学校E教諭【生後1か月 約3か月間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

妊娠3か月ごろに妻から提案があり、出産して直後の時期に、ともに育児を行うことがこれから夫婦で子育てを続けていく上で大切なのではないかと問いかけられ、初めはイメージができませんでした。が、育児休業を取得するタイミングを夫婦で相談した上で決めました。

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

夫婦で出産前後の準備や妻の身体の状態を確認したり、仕事の引き継ぎが円滑に行くための準備をしたりしました。私の両親や親戚が応援してくれたり、職場の方が快く送り出してくれたりしていただけたことに感謝しています。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

仕事をするより確実に毎日長い時間一緒に過ごす事で、我が子の成長を瞬間瞬間に感じる事ができたことや、1日を通しての育児の大変さや妻の存在の大きさ、本来母乳をあげる事以外は父親にも全てできることなど、たくさんの気づきがありました。また、家族の将来設計や娘が過ごしやすい家づくりについてもじっくりと話すことができて良かったです。また、もし育児休業を取得していなかったら、ちょっとした娘の変化や妻の大変さに気付くこともできなかったのだろうなと感じることが多々あります。（それでも気付いていないことはたくさんあり、夫として父としてまだまだ未熟ですが・・・）最後に、日本では男性の育児休業への理解がまだ十分ではないということを知れたことも経験です。職場に復帰したときに「ゆっくり休めたか？」という声いただきましたが、そのような理解・時間の過ごし方にしてしまつては非常にもったいないですし、何より家族のためになりません。ただ、これも育児休業を取得しなくては経験できないことだったのだろうと感じました。

育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

育児休業を取得してもらったことで、子どもの成長を共有する時間が増えたこと、自分が復帰した後、協力して子育てをするための家事や育児、働き方などについても話し合える機会ができてとても良かったです。子どもと遊んだり、寝かしつけをしたり、おむつを替えたり、沐浴をしたりするだけでなく、予防接種の内容や時期、外出の際の荷物の中身、離乳食の進め方など、子育てしていく上で必要な準備や確認なども育児休業中に一緒にできたことにより、復帰した後も自ら準備や話をしてくれます。第一子だったので、私も主人もわからないことが多い中でのスタートでしたが、わからないからこそ、一緒に調べたり、共に悩んだり、共に喜びを分かち合える時間を持つことは、この先、子育てをする上でとても大事な基盤になりました。子どもと向き合う職だからこそ、育児休業を取得することで色んな視点や発見もでき、復帰後、仕事にも還元できると思います。そして何より、二度とない我が子の成長を家族と共有できる素晴らしい機会なので、悩まれている方がいたら前向きに取得してほしいなと思いました。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

育児休業を取得することで子育ての様々な喜びの瞬間に立ち会うことができます。たった3か月でも、娘の生活リズムの変化、おもちゃに興味を示した、笑顔で反応するようになった、首がすわってきた、寝返りをうちそうだ、などたくさんの喜びがありました。同時に夫として父として至らない点や頑張るべきことにも、日々仕事をしながら育児に関わるより気付き行動しやすいと感じました。私自身、育児取得を考えているときに、仕事に穴をあけられないから取得は難しいなと思っていましたが、一度ゆっくり家族と向き合う時間をとって、ともに過ごすことはどの場面においても自分や周囲にとってプラスの効果を生み出すと思いました。

一つ気をつけておかななくてはならないのは、休憩する時間ではありません。育児休業は妻と子どものためになる時間だけではなく、自己と向き合い、先の数十年の土台をつくる時間になり得ます。もし悩んでいる方がいましたら、思い切って取得してみてください。

中学校F教諭【生後3か月頃から約4か月間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

前任校で育児休業を取得した男性先輩教員がおり、職場復帰後の姿を見て、産後の支えができるのなら私も取得したいという思いが強くなり、育児休業を取得しました。また、妻が県外出身で里帰り出産だったため、こちらに戻ってきたときに、日中がワンオペになり大きな負担になることが想定できたため育児休業を取得するに至りました。

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

前年度の2学期には育児休業を取得することを管理職と相談していたので、こちらの意向を尊重して次年度の校務分掌を調整していただけたことがありがたかったです。9月から育児休業を取得したため、夏休みにすべての引継ぎ準備を終えることができたことが大きかったです。育児中は、学年部を中心にフォローに入ってくれたため、1月からの復帰後も違和感なく職務に専念できました。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

私の場合、妻が里帰り出産で県外に居たため、生後3か月頃までは1か月に1回しか会えなかったが、育児休業を取得してからは、息子の成長や日々の些細な変化に気付くことが多くなり、夫婦で子どもについて語り合い、分かち合うことがうれしくなりました。日々のお世話で我が子に愛情を注いで育てているうちに、在籍校の生徒たちもこうして育ってきたのだなと思うと、育児で悩む保護者の気持ちに理解を示せるようになってきました。また、私自身もこうして周りに支えられて育ってきたと思うと、関わってくれたすべての人に感謝の気持ちが湧いてきました。

育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

初めての出産・育児だったので、夫に手伝ってもらって助かりました。息抜きや日々の買い物のときに、子どもを見てもらって落ち着いて過ごすことができたのは、育児休業を取得してもらったおかげです。特に日に何度もあるミルクを代わってもらえると、家事を済ませることができて助かりました。息子は寝つきがよく手を煩わせることが少なかったですが、夜泣きが多い子であれば代わってもらえるだけでも助かったと思います。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

日々変化していく我が子の姿やたくさんの「初めて」に出会えることがうれしかったです。そして日を追うごとに父親としての実感や、我が子に何をしてあげられるだろうかと考えるようになりました。日々の写真などを見返す度に、妻とどんな会話をしていたのか鮮明に思い出します。

生後3か月目から育休を取得し、子が7か月を過ぎる頃に職場復帰をしました。この時期はちょうどずり這いが始まり、これまで以上に目が離せない状況となりました。もしもう一度育休を取得するなら、子が動き回れるようになった時期に合わせます。子様子をそばで見えてくれるだけでも負担が軽減されると妻が言っていました。



G指導主事 【生後11か月頃から約1週間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

制度の詳細な内容について上司から教えていただき、第1子誕生の際には仕事の都合がつかず、取得できなかったこともあり、取得してみたいと考えるようになりました。

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

職場のチームで動く仕事については、同じチームの方に配慮を頂き、復帰後も滞りなく業務に専念することができました。先輩からは、「子どもと関わる時間を大切に」との温かい言葉を頂き、感謝しています。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

普段は時間にゆとりがなく、慌てながら必要な育児をこなしていたという感覚でしたが、時間にゆとりが持てたことで、じっくりと子どもに向き合うことができました。その中で、兄妹の関わり方の変化に気付いたり、触れ合う時間が多く持てたりと、忙しい中にもとても充実した時間を過ごすことができました。

育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

食事の準備や、入浴、着替えなど、分担して育児にあたることができ、自分自身の身体を休ませることができ、そのことで、子どもたちにさらに愛情を注ぐことができたと思います。家族4人で大事な時間を過ごすことができました。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

日々の業務に追われる中、取得には迷いもありました。しかし、1週間の育児休業で、子どもたちの成長を肌で感じ、家族の絆を深めることができたと思います。仕事と育児の両立は簡単ではありませんが、周りのサポートも頼りにしながら、検討してみてもいいのではないでしょうか。

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

以前の学校で育児休業を取ったことのある同僚から「とってよかった。とったらいいよ。」という意見を聞いていました。また、県や教育委員会も男性の育休取得を推奨していることを知っていましたし、妻も取ってほしいとのことだったため学校に相談しました。

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

異動が決まった時には出産の予定がわかっていましたので、臨時の先生の確保のため、異動発表後、分掌希望の調査等の電話連絡の際に早めに相談していました。期間についても臨時の先生がつきやすいように2学期から3学期末まで切りのいい期間を要望し、快く検討していただきました。実際、引継ぎも夏休み中にすることができましたし、その要望の期間、臨時の先生に来てもらうことができ、現場の負担感もなかったようなので安心して育児に専念できました。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

夫婦一緒に育児休業をとったメリットとして家事と育児を分担して行うことができ、心身ともに健康で過ごせたことや、昼間には支援センターなどに連れて行ったり、祖父母の実家に遊びに行ったり、動物園に連れて行ったり、散歩したりと、毎日どこか外に出て色々なものを見て体験することができ、かなり子どもの成長につながったと思います。おかげで車での移動や祖父母にも慣れ、復帰した今、困ったときに祖父母に面倒を見てもらうこともできています。

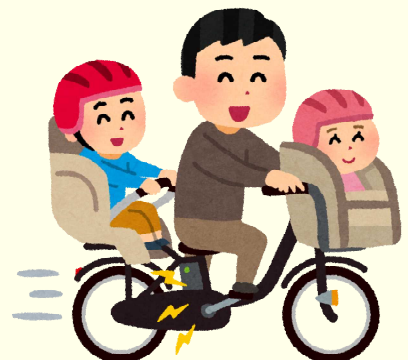
育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

出産してすぐのころは授乳以外のことをやらせてもらえて助かりました。沐浴も不安で全部やらせてよかったです。夫に育休をとってもらえていない友達から聞いた話では、「子どもがなついていないので寝かしつけなど全部自分でしないとイケない。」「休日など、家に居ても育児を代わることができない」ということでした。育休が取れて、なついてもらえるほどの時間を一緒に過ごしてもらえたことをありがたく思っています。寝不足な時、辛い時に代わってもらえる、頼れる人が近くにいてくれた環境にとっても感謝しています。

これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

実際に生まれてから育児をしてみて初めての経験ばかりで、1人でするにはとても大変だということを実感しました。誕生からこの1年で子どもはすごいスピードで成長します。昨日できなかったことが急にできるようになります。私は、夫婦そろって育児休業を取得させていただきました。そこで得たものは夫婦で子どもの成長に寄り添う経験、その喜びに二人で目を合わせ共感できたこと、また育児の大変さを共有し助け合えるという貴重なものでした。子どもの発達を間近で観察することができ、復帰した今、その経験を生かすことができています。

ぜひ育児休業の制度を活用し、人生における貴重な時間を大切にしてください。



特別支援学校Ⅰ教諭【生後2か月頃から約半月間取得】

育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

長男の保育園への入園が決まらず、日中に2人の兄弟の面倒をみなければいけない状況だったことと、同僚が取得したことがきっかけとなりました。

育児休業を取得するために準備したこと、取り組んだこと、苦労したことは？ 周囲の反応や周囲に感謝したことは？

管理職をはじめ、周りの教職員へ相談した際には、快く取得することを承諾してくださいました。

育児休業を取得したからこそできた経験、取得して良かったと思うことは？

1人で育児と同時に家事を行うことは大変なことであることを実感し、改めて妻へ感謝の気持ちを伝えました。また、子どもの成長を日々間近で感じることができ、有意義な時間になりました。



育児休業を取得したことについて、配偶者はどう思っている？

育児休業を取得してくれると思わなかったもので、話があったときはビックリしました。お陰で、家事等の分担ができ、子どもに向き合える時間も増えました。また、子どもの成長をゆっくり夫と共有しながら子育てできたことを嬉しく思います。



これから育児期をむかえる教職員に対してのメッセージ

子育ては、思っている以上に苦労します。日頃、子育てをしてくれている奥様のサポートをしてあげてください。また、これから育児期をむかえる教職員の方々に向け、どんどん広めていってあげてください。



これまでの「男性教職員の育児休業体験談」を教職員・福利課のHPに載せています。ぜひ、ご覧ください。

【これまでの男性教職員の育児休業体験談はこちら→】

